

Q 組合が行う「転嫁カルテル」及び「表示カルテル」について教えてください。

A 平成 26 年 4 月 1 日からの消費税率の引き上げに伴い、平成 26 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日までの間における商品又は役務の提供を対象として、公正取引委員会へ事前に届出を行うことを条件に、事業者又は事業者団体が「消費税の転嫁及び表示の方法の決定に係る共同行為」について、総会等で決議することにより、独占禁止法に違反することなく行うことができる制度が設けられています。

(1) 転嫁カルテル＝消費税の転嫁の方法の決定に係る共同行為

(転嫁カルテルは、参加事業者の3分の2以上が中小企業者であることが必要です。)

- ①各事業者がそれぞれ自主的に定めている本体価格に消費税分を上乗せする旨の決定
- ②消費税率引き上げ分を上乗せした結果、計算上生じる端数を切り上げ、切り捨て、四捨五入等により合理的な範囲で処理する旨の決定(例 本体価格98円×8%＝消費税額7.84円→8円)

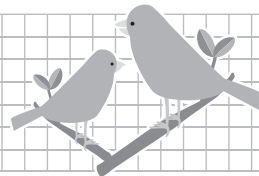
(2) 表示カルテル＝消費税についての表示の方法の決定に係る共同行為

(表示カルテルは、全ての事業者や事業者団体に認められます。)

- ①消費税率引き上げ後の価格について統一的な表示方法を用いる旨の決定
(例)「税込価格」と「消費税額」とを並べて表示する旨の決定
「税込価格」と「税抜価格」とを並べて表示する旨の決定
個々の値札に、税抜き価格を表示した上「+税」と表示する旨の決定
- ②価格交渉を行う際に税抜き価格を提示する旨の決定

※ 消費税転嫁対策については、専門家派遣事業(無料)も実施しておりますので、本会商業振興課までお問い合わせ下さい ☎ 018-863-8701

話題の広場



中央会事業より

6次産業化出前講座の開催組合を募集！

本会では、秋田市から「6次産業化人材発掘・育成研修事業」の委託を受け、6次産業化や農商工連携に取り組む人材の発掘と育成等を目的に、秋田市内の事業者や農業者等を対象として、「出前講座」や加工・販売のための「講義・加工実習研修」の実施及び商工業者とのマッチング機会の提供等を行っています。

この「出前講座」は、無料で講師を派遣し、6次産業化及び農商工連携の始め方や、事業主を成功へ導くためのコツなどを分かりやすく解説するほか、加工品開発や販売等に取り組む実践者による事例紹介などを行うものです。

なお、「出前講座」は全4回の開催を予定しておりますので、開催を希望する会員組合は、お気軽にご相談下さい。

【お申し込み・問い合わせ先】 本会事業振興部 工業振興課(担当：谷口・稲葉) ☎018-863-8701

【開催事例：第1回(8月28日(木))】

開催団体：秋田市農産加工品等販売促進協議会(参加者28名)

講師：金沢大学 教授 大友信秀氏

テーマ：「名は体を表す～伝える!飾る!偽る!?ネーミングの力～」

内容：「効果的な商品名の付け方」や「商標登録について」等、ネーミングによる販売戦略のポイントについて分かりやすく紹介した。



【出前講座の様子】

6次産業化とは：1次産業×2次産業×3次産業＝6次産業という考えに基づき、1次産業の農林漁業者が生産だけではなく、加工、流通・販売にも取り組み、売上や利益増加に繋げ、農業の活性化を目指すものです。農商工連携との主な相違点は、農商工連携は商工業者と農林漁業者との連携体が支援対象であるのに対し、6次産業化は農林漁業者が直接支援対象となります。

第18回中小企業団体ゴルフ大会を開催

9月24日(水)、秋田市の「秋田カントリークラブ」において、第18回中小企業団体ゴルフ大会を開催しました。本大会は、本会会員並びに関係機関相互の交流促進を目的に毎年開催しているもので、今年も多くの会員組合や企業から協賛を頂きました。

当日は、天候にも恵まれ、県内各地から参加した42名が自慢の腕を競い合い、大自然の中でのプレーを楽しみました。

大会の結果、秋田県環境整備事業協同組合の中村喜正氏(株式会社昭和興業)が、ネット72.6で優勝しました。

また、プレー終了後に行われた表彰式では、参加者がお互いの健闘を讃え合い、親睦を深めました。

【結果】

優 勝	中村 喜正氏	(秋田県環境整備事業協同組合)
準優勝	五嶋 建二氏	(秋田県印刷工業組合)
第3位	深川 雅通氏	(秋田市工業団地協同組合)
B G賞	武田 弘一氏	(秋田県鳶土木事業協同組合) 75



【プレーの様子】



【優勝：中村喜正氏(右側)】

支援団体活動レポート

平成26年度第1回研修会・懇親会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

9月12日(金)、第一会館本館(秋田市)において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成26年度第1回研修会が開催されました。

今回の研修会には、「組合運営の一助として、資質向上を図りたい」といった共通の目的を持つ秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)にも広く参加を呼びかけた結果、両団体から43名が参加しました。

研修会では、秋田大学教育文化学部の高田知恵子教授を講師に、「自分自身を知り、よりよい人間関係を築くために」と題し、「相手を理解してあげようという心構えしていると人付き合いが楽になる」、「相手を褒める言葉や自分を褒める言葉などなるべく肯定的な表現をする」等、自身のカウンセリングでの経験を交えながら、職場や家族とのコミュニケーションに関するアドバイスが行われ、参加者は熱心に聴講しました。

研修会終了後に会場を移して開催された懇親会では、参加者同士が終始和やかな雰囲気の中で交流と親睦を深めるなど、有益な情報交換の機会を設けることができました。

秋田県中小企業組合士会と秋田県中小企業団体事務局協議会では、今後も交流や情報交換の機会を設け、相互に資質向上を図っていくこととしています。



【研修会の様子】

企業活動成果発表会を開催 ～あきた工業団体連絡協議会・秋田県アパレル産業振興協議会～

9月9日(火)、秋田県産業技術センター(秋田市)において、あきた工業団体連絡協議会(須田精一会長)の第2回企業活動成果発表会が開催され、会員団体等から90名が参加しました。

成果発表では、秋田県アパレル産業振興協議会(佐々木繁治会長)の会員企業である秋田ファイブワン工業株式会社(佐賀善美社長)と株式会社弘商(鈴木健志社長)の2社を含む6社による取り組みについて発表が行われ、秋田ファイブワン工業株式会社からは、ボトムアップ式の自己啓発型工場を目指し、気づき活動による業務改善に取り組んだ結果、従業員の問題解決力が向上した事例が、また、株式会社弘商からは、着用時に見栄えがする商品改良とExcelによる納期管理システムの導入等により小ロット・短サイクルを実現した事例がそれぞれ紹介されました。

なお、審査結果については、10月22日(水)に開催されるあきた工業団体連絡協議会通常総会席上にて発表され、最優秀企業1社に秋田県知事賞が贈呈される予定となっています。

また、9月13日(土)には、アキタパークホテル(秋田市)において秋田県アパレル産業振興協議会の「若手従業員育成セミナー」が開催され、会員企業各社から23名が参加し、作業動作の改善を進めるための着眼点や動作のポイント等について研修が行われました。



【企業活動成果発表会の様子】

新設組合紹介

秋田いぶりがっこ協同組合



鈴木理事長

【組合の紹介・PR】「いぶりがっこ」は、秋田の気候、風土により育まれた伝統的な漬物で、本県を代表する発酵食品ですが、人口減少や高齢化により県内需要の先細りが懸念されています。一方、近年では、「いぶりがっこ」の知名度が向上し、首都圏を中心に需要が伸びてきたため、県外でも「いぶりがっこ」が製造されるようになってきました。

そこで、県内でいぶりがっこの製造、加工を行っている9事業者で協同組合を設立し、共同購買及び共同受注事業を通じ、コスト削減や受注体制の強化を図り、市場競争力を高めることで、県外市場への販路拡大に努めていくことにしました。

また、組合員が共同で、製造方法やブランドの確立に関する調査研究等を行っていきます。

【理事長から一言】

当組合は、大仙市、横手市、湯沢市、雄勝郡でいぶりがっこの製造・加工を行う事業者が集まり設立しました。

今後は、共同事業の実施を通じ、組合員の経済的負担軽減を図りながら販路拡大を目指すとともに、「秋田いぶりがっこ」ブランドを確立すべく、積極的に活動して参ります。

- 所在地 大仙市協和稲沢字釜ノ川沢 32
- 代表理事 鈴木 辰美
- 出資金 450,000 円
- 組合員数 9 名
- 主な事業 共同購買、共同受注、調査・研究、教育及び情報の提供
- 成立年月日 平成 26 年 9 月 24 日

インフォメーション

第34回秋田県特産品開発コンクール表彰式が開催

9月22日(月)、市場性・商品性・品質デザイン等に優れた作品を表彰する「第34回秋田県特産品開発コンクール表彰式」が秋田市のアルヴェで行われ、加工食品部門79点、食の新人賞部門11点計90点の中から、次の2点が奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)を受賞しました。

受賞商品は、アトリオン地下1階「あきた県産品プラザ」にて販売中ですので、是非、お試しください。

【お問い合わせ先】 株式会社秋田県物産振興会 ☎018-836-7830

～ 奨励賞(秋田県中小企業団体中央会会長賞)受賞商品 ～



「神の魚物語り」
株式会社鈴木水産
(代表取締役鈴木勇)

【商品紹介】 魚偏に神と書く鱒とアイヌの民が「カムイチェブ(アイヌ語で“神の魚”）」と呼ぶ鮭が「神の魚」と呼ばれています。この2種類を秋田県が開発した「あめこうじ」で漬けこみ、ミネラル豊富な「白神の塩」と「白神こだま酵母」を加え、独自の製法で熟成させています。



「秋田県産
プレミアム馬肉シチュー」
秋田内陸縦貫鉄道株式会社
(代表取締役佐々木琢郎)

【商品紹介】 芳醇で濃厚なデミグラスソースと脂肪分の少ない赤身の馬肉は相性が良く、レトルトとは思えない質の高いシチューに仕上がりました。ターメリックライスやライ麦パン、赤ワインとの相性は最適です。

秋田県の最低賃金が改定されます (秋田労働局)

10月5日(日)から秋田県の最低賃金が現在の665円(1時間あたり)から14円引き上げられ、679円に変わります。

※最低賃金は全ての労働者に適用されます。最低賃金額よりも低い賃金を労使合意の上で定めても最低賃金法によって無効とされ、最低賃金額と同様の定めをしたものとみなされますので、事業主の皆さまはご注意下さい。

【お問い合わせ先】 秋田労働局労働基準部賃金室 ☎018-883-4266

秋田県の最低賃金(1時間あたり)

679円

発効日 平成26年10月5日

「成長の基盤たる競争政策と公正取引委員会」講演会のご案内 (公正取引委員会)

公正取引委員会は、独占禁止法等を運用する行政機関で、平成26年4月からは消費税転嫁拒否行為に対する勧告・公表などを積極的に行っています。このたび、公正取引委員会の活動内容を広く知ってもらうとともに、公正取引委員会に対する意見・要望を伺うための講演会を開催することにしましたので、是非、ご来場下さい。(参加無料、定員70名)

○開催日時：平成26年10月29日(水) 13:30～15:00

○会場：秋田市にぎわい交流館AU 4階 研修室1, 研修室2

【お問い合わせ先】 公正取引委員会事務総局東北事務所総務課 ☎022-225-7095

締切迫る!!平成26年度中小企業組合検定試験の受験者を募集中!

中小企業組合検定試験に合格し、組合等で3年以上の実務経験を有する方については、全国中小企業団体中央会から組合運営のエキスパートである「中小企業組合士」として認定されます。

本会では、11月に受験対策講座を開催する予定ですので、是非、本講座を活用して、中小企業組合士を目指しましょう!

試験日：平成26年12月7日(日)

試験会場：秋田県社会福祉会館

申込締切：平成26年10月15日(水)

受験科目：組合会計、組合制度、組合運営(3科目)

受験料：5,000円(一部科目免除者3,000円)

【お問い合わせ先】 本会企画広報課 ☎018-863-8701



組合ティールーム 秋田県中小企業青年中央会

会長 佐藤 潤 さん

○秋田県中小企業青年中央会について

秋田県中小企業青年中央会は、中央会の会員組合及び傘下企業の青年経営者等で組織する団体です。現在、28組合の青年部と、個人会員1名が加入しており、人脈の醸成及び新たなビジネスチャンスの発掘を目的として、情報化の推進や、会員の資質向上及び会員相互のコミュニケーションを図るための交流会やセミナー等を実施しています。

また、昨年11月に、災害時の連携体制を構築し、地域社会と経済の活性化に向けた活動に取り組む目的で、5団体(秋田県中小企業青年中央会、秋田県商工会議所青年部連合会、日本青年会議所東北支部秋田ブロック協議会、秋田県農業協同組合青年部協議会、秋田県商工会青年部連合会)による「秋田県青年団体連絡協議会」を設立しており、今後、異業種交流の場が広がるよう、積極的に働きかけていきたいと考えています。

○座右の銘について(普段心がけていること)

「お客様の目線に立った店づくり・ものづくり」を心がけています。

人口減少率トップの本県においては、地域で商売を続けていくのは難しいですが、歩道や店前をきれいにしたり、ディスプレイの工夫や笑顔での接客等を心がけ、できることから取り組んできましたし、すぐには売上に繋がらなくても、やり続けることによって結果がついてくることを経験しました。現在は、全国商店街支援センターの繁盛実践サポーターとして、県内外で成功体験をお話しています。

○趣味について

オートバイ、スキー、釣りなどアウトドアが大好きです。特に、オートバイは、20代の頃モトクロスをやっていたこともあり、今でも、オフロードを走る方が好きです。なかなか時間が作れませんが、休みが取れたら、ツーリングに出かけたいです。

